

地域づくり提案事業 成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 平成 19 年度

市町村名	秩父市			
補助事業名	秩父ミュージズパークスポーツの森環境整備事業			
事業期間	19 年度	～	20 年度	
事業の必要性、目的	<p>秩父ミュージズパークは、平成元年（1989年）に県が都市公園地域に指定し、同年3月10日には秩父ミュージズパークを含む4地区を「秩父リゾート地域整備基本構想」として総合保養地域整備法（リゾート法）に基づき国の承認を得た。秩父ミュージズパークのうちスポーツの森ゾーンは秩父ミュージズパークの主要施設として西武鉄道株式会社が平成3年7月にプール・テニスコートを開業し、平成4年7月にコテージ100棟、平成6年にパー3ゴルフコース、平成7年にコテージホールを開業した。</p> <p>社会経済情勢の変化により、企業のリゾート地への投資の減退や国民の滞在型余暇活動への需用の低下が見られるようになり、従来のサービス提供型の観光から体験型の余暇活動へのニーズが高まってきた。また、国民の余暇活動の内容は、他の地域に滞在し、学習の目的を持って、その地域の持つ自然や、文化等をじっくり探勝するもの、その地域の特産品の生産や暮らしふりを体験するもの等、滞在・交流型の余暇活動が求められている。</p> <p>当市は、平成18年12月に西武鉄道株式会社より無償譲渡を受けた、秩父ミュージズパークスポーツの森施設（土地及びプール・テニスコート・ゴルフコース・コテージ100棟・センターコテージ）を市民と都市住民との地域間交流の拠点施設と位置づけ、秩父の自然や歴史、祭りや芸術等の文化などの秩父の魅力を総合的に活用し、地域間交流を活発に行っていききたい。</p> <p>なお、本事業は、「頑張る地方応援プログラム」と併用することにより、秩父ミュージズパークスポーツの森を交流拠点施設として実現していくことになっている。</p>			
成果指標	（成果を検証する指標） <b>交流拠点施設として位置づける秩父ミュージズパークスポーツの森利用者数</b>			
	（成果検証の具体的な方法） スポーツの森施設（プール、テニスコート、コテージ、冒険の森）の利用者数を18年度と比較して増減数及びその原因を分析する。			
	（上記の指標を設定した理由） スポーツの森施設の利用者数がスポーツの森施設に対する都市住民及び地元住民の関心度を示す指標であり、住民に対しても達成度を理解しやすいため。また、入込観光客数では、他の施策による要素が加わってしまうため。			
	（成果の目標値）			
	現状値 （18年度）	88,844人	目標値 （21年度）	100,000人
	（施設建設等の場合）			
	年間利用者数（目標）（人） （平成21年度）	100,000人	稼働率（目標）（%）	-
住民への公表方法及び特記事項	市のホームページにおいて目標値を住民に公表する。 「頑張る地方応援プログラム」秩父市ホームページ 【にぎわいと感動を「交流のちちぶ」創造プロジェクト】 <a href="http://www.city.chichibu.lg.jp/cgi-bin/odb-get.exe?WIT_template=AC020000&amp;wit_oid=icityv2::Contents::2976">http://www.city.chichibu.lg.jp/cgi-bin/odb-get.exe?WIT_template=AC020000&amp;wit_oid=icityv2::Contents::2976</a>			

## 【成果指標と構成事業の関連性】

平成19年度 構成事業

構成事業名		概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
①	スポーツの森整備事業	ハード スポーツの森ゾーンのうち既存のプールの改修を行う。プールを市民プールと位置づけ、市民に対しては、プール利用カードを1,000円で頒布しカードの提示により無料入場券と引き換える。また、市外住民に対しては、ふるさと秩父カード（ちちぶ交流市民カード）を1,000円で頒布しカードの提示により割引特典を行う。これにより常に賑わいのあるプールを創出し、都市住民に対して交流イベント等の活用により、交流活動の拠点施設としての秩父ミュージックパークを位置づけ、リピーター人口の増加を図る。 また、ふるさと秩父カードを提示することにより、コテージ宿泊料を割引くほか、市内の施設・店舗に利用特典協力の募集を市報で行い協力施設・店舗を広めている。 また、56面あるテニスコートの一部をフットサルコートに改修し、ミュージックパークの魅力を高める。 また、コテージ100棟にはシャワー設備が設置されているが、宿泊者のニーズに応えるほか、プール、テニス、スカイロードのジョギングコース、フットサルコート〔平成19年度設置予定〕の利用客が汗を流せる場として入浴施設の設置を予定しているため、19年度はその実施設計を行う。 これにより、コテージを企業の研修や学校等の合宿等で利用しやすい環境に整備し、企業との合同研修や地元の学校と合同で勉強やスポーツの合宿を企画し、都市住民との交流を推進していく。 さらに平成20年度には、無償譲渡を受けた後、休業している広大なパー3ゴルフコースの起伏・形状を活かして、「(仮称)冒険の森」の整備を行う予定である。冒険の森は、子どもたちの興味関心に基づいて環境に関する知識を高める場を提供するもので、さまざまな体験を経て仲間への信頼感を生み出せるようなプログラム化された冒険ができるものである。また、健康ウォーキングコース等の整備も行う。	40,207 うち補助対象 39,476
②	ミュージックパークコテージブロードバンド環境整備事業	ハード 秩父市が都心から80kmの圏内に位置することから、企業研修や学校等の合宿で移動手段に多額の経費を要する遠方地の長野や新潟へ行くよりも近場で行いたいというニーズに応えるために、企業研修や学校等の合宿施設として使用可能な会議室や宿泊施設があるコテージにブロードバンド環境を整備するものである。 100棟で最大400名が宿泊可能な施設を拠点に、企業との合同研修や学校との合同の勉強合宿やスポーツ合宿を通して都市住民との交流を図り、秩父地域の活性化とリピーター人口の増加、2地域居住の促進を図る。	15,750
③	大学生等誘客促進事業	ソフト スポーツの森コテージを拠点に大学生等との交流居住事業を実施することにより、秩父ファンの獲得と若者のリピーターを確保し、交流促進をはかっていくものである。 具体的には、大学生等を中心として、メールマガジンや大学をとおして広く参加者を公募し、コテージに宿泊してもらい、秩父のよさを十分に味わっていただく。また、参加者には、秩父の産業などを含めた秩父のよさを知ってもらい、秩父のファンになっていただくため、地元企業の見学や、情報交換会をとおして交流を図る。今後の定住促進につなげるため、就職等の際に秩父のよさを思い出していただけるような、機会を創出する。	3,500
合計			59,457 うち補助対象 58,726

## 【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	市民に対しては、プール利用カードを1,000円で頒布しカードの提示により無料入場券と引き換える。また、市外住民に対しては、ふるさと秩父カード（ちちぶ交流市民カード）を1,000円で頒布しカードの提示により割引特典を行う。これにより常に賑わいのあるプールを創出し、都市住民に対して交流イベント等の活用により、交流活動の拠点施設としての秩父ミュージックパークを位置づけ、リピーター人口の増加を図る。 また、ふるさと秩父カードを提示することにより、コテージ宿泊料を割引くほか、市内の施設・店舗に利用特典協力の募集を市報で行い協力施設・店舗を広めている。 秩父の自然・歴史・祭り等の文化などの秩父が持っている特性をPRし、見るだけではなく体験・交流型の余暇活動のニーズに応え、秩父における滞在空間は、都市住民にとって『ちかいなかの癒しの空間』であることをPRする。 また、大学生等の誘客促進についても、関係大学へ参加の依頼を行うとともに、休職サイトメールマガジンを利用し参加を確保する。
成果指標の達成見込み	スポーツの森整備を進めることにより、利用者のニーズに応えられる。また、住民のスポーツの森に対する注目度が増し同時に平成19年度より本格稼働した、観光専門のホームページ「秩父観光ナビ」や市のホームページにおいてPRすることにより、目標達成をより確実にする。 また、大学生等にコテージ宿泊を体験してもらうことにより、秩父のよさを感じリピーター化が図れ、今後の誘客促進につながる。